



東京大学 理科三類1年
清原悠嵩さん

困っている人に寄り添える医師を目指して 自由な雰囲気にあふれた場で 「本物の英語」を身につける

東京は渋谷に位置する「平岡塾」は、英語だけを教える専門塾だ。単なる受験英語ではなく、実社会で通用する本物の英語を教えることで知られる。今春、東京大学理科三類に進学した清原悠嵩さんに、「英語の平岡」の魅力について伺った。

自由な雰囲気の中で 文法力を確実に養成

——どうして平岡塾に通うようになったのですか。

清原 中学1年になる直前の3月、母に勧められたからです。理由を聞くと、「文法を基礎から教えてくれるから」、「ネイティブのリチャード先生の生の英語に触れるから」だそうです。中学受験が終わってホッとしていたので、正直、塾っぽい塾には通いたくないと思っていたのですが、結局6年間通い続けることになりました。

清原 最初印象が強烈でした。みんな

な絨毯に座って、座卓で勉強しているのです。生徒同士の距離も近く、授業中の飲食も基本的に自由という、それまでの塾の概念とはまったく異なる学びの場に、新鮮さを感じました。

——どんな授業スタイルなのですか。

清原 週に1度3時間ほどの授業ですが、延長されることもしばしばあります。膨大な量の宿題が出されますが、授業は宿題の答え合わせから始まるため、宿題を確実にこなしてから授業に参加することが大前提になっています。実際、授業の前日は、かなりの時間を宿題に費やした思い出があります。授業で扱う内容は、文法、長文読解、英作文です。これに加えて、毎回、リチャード先生による英語の発音

や英会話の練習をする時間が40分ほどあります。

英語を通して見えてくる 新しい教養の世界

——中学3年間の学習内容を、簡単に教えてください。

清原 まず中1から文法を徹底的に習いはじめ、中2の11月までに文法の全単元を一通り終わらせてしまいます。文法を早めに固めることで、長文読解力を高める目的もあるようです。文法の勉強と並行して、「ドン・キホーテ」も読みはじめます。初めて接する英語の文章ですから、それこそ辞書の引き方から始まり、懇切丁寧な先生の解説

——ネイティブの先生はどんな授業をされるのですか。

清原 最初のうちは、発音を徹底的に指導してくれます。ジャズのリズムに乗せて英語の会話をを行う独特の方法で、英語特有のリズムや発音を学んでいくのです。耳に残りやすく、口ずさみたくなるので、英語のリズムと発音に早く慣れていきます。

——高校になっても、同じ学習方法なのですか。

清原 基本的に同じです。ただ長文読

解で扱う教材が、高1はデカルトの「方法序説」、高2はラッセルの「教育論」と、内容がかなり難しくなります。これらを、中2までに配布された文法のプリントに立ち返りながら、読み進めていきます。日本語で読んでも難しい内容を、哲学の素養豊かな先生による解説で読み進めていくのですが、その解説が本当に面白く、とても刺激的な授業でした。英語の勉強というより、英語を通して新しく教養の世界を垣間見ているようで、授業時間の延長も気にならずに没頭していました。また、英作文についても、毎回、宿題の解説を受けることで、英語らし

い表現を学んでいきます。さらに、リチャード先生の授業では、高校からは英会話の練習になり、3人グループで会話を学んでいきます。こうして、文法を基調としながらも、英語の4技能をバランス良く伸ばしてくれるのが、平岡塾の魅力だと思います。

万全の受験準備のみならず 将来に役立つ英語を学べた

——受験に対して、不安はありませんでしたか。

清原 平岡塾では、高2までは入試問題には一切触れないので、多少の

不安はありましたが、高3から一気に受験対策に力を入れてくれます。授業で取り上げる長文はすべて入試問題で、経済や法律、医学など、あらゆるジャンルの英語を扱います。こうして入試問題に触れるようになると、文法がいかに大切かを改めて認識することになります。入試問題で間違えた箇所のは大半は文法事項を間違えているからです。このほか、志望校別に宿題が課されたり、個別に添削指導をしてくれたり、リスニング対策もしてくれたり、手厚くフォローしてもらいました。

——医師を志したのは、いつですか。

清原 小学校の低学年はインドネシアで暮らしていましたが、帰国と同時に感染症にかかり、感染病棟に隔離された経験があります。そのとき抱いた漠然とした医師への憧れがベースになり、高2で医学部志望を決めました。せっかく医師になる勉強をするなら、恵まれた教育環境と、レベルの高い仲間たちに囲まれた大学がいいと思うようになり、将来は困っている人に寄り添える医師を目指したいと思っています。

——医学部での勉強はいかがですか。

清原 まだ教養課程ですが、英語では積極的な発言が求められるオールイングリッシュの科目もあります。しかし、リチャード先生の授業のおかげで、大きなアドバンテージを感じ



平岡塾で使用している教材。ラッセル、オーウェルなど、古典的名著の名文が中心だ。

ています。また、平岡塾で英文を「前から読む」ことを徹底して習ったおかげで、どんな長文が出て来ても抵抗なく読めるようになりました。こうして培った英語力を今後も伸ばしながら、医師として自分を高めたいと思います。

——最後に医学部を目指す中高生のみならず、皆さんにアドバイスをお願いします。

清原 医学部志願者の場合、受験でも入学後の勉強でも高い英語力が要求されます。英語力を伸ばすには、基礎である文法の力をしっかりと固めておくことが大切です。英語の基礎がしっかりとあれば、英文を通して新しい世界が見えるようになり、勉強が楽しくなります。英語を楽しむながら勉強するためにも、基礎をしっかりと身につけるようにしてください。

